

社協だより



第 25 号

平成25年11月1日発行

<http://www.setagayashakyo.or.jp>

世田谷区社協

検索



世田谷区 社会福祉協議会

● 支えあい ● 心をつなぐ ● 合い言葉 ●

世田谷区社会福祉協議会は、
誰もが安心して暮らせるまち・世田谷を目指し、
区民の皆さんと共に福祉のまちづくりを進める非営利団体です。

砧地域

砧地域社会福祉協議会事務所

〒157-8501

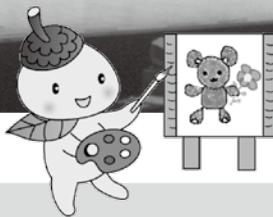
世田谷区成城6-2-1 砧総合支所3階

TEL.3482-6711 FAX.3482-6712

e-mail ☒ stshakyo@basil.ocn.ne.jp



地域福祉推進大会



平成 25 年 10 月 6 日実施

～みんなでつくりみんなで育てよう 地域の福祉～

第1部は俳優の風間杜夫さんに落語と「愛すべきわがまち」をテーマにご対談いただきました。また、第2部では「みんなで支えあい！地域で見守り」をテーマに各地域より活動報告があり、砧地域からは、成城地区社協会長 伊藤美子さんが発表されました。

歳末たすけあい・地域支えあい募金への
ご協力をお願いいたします

東日本大震災義援金募集ご報告

東日本大震災で被災された方々のための義援金は、平成26年3月31日まで募集いたします。皆様からの温かいご支援に感謝いたします。

義援金受付額：**4,301,044 円** (平成25年9月25日現在)



地区社協情報

～砧地域ってどんなまち？～



まちを愛し、いつまでも住み続けたい、さらには、今以上に魅力的なまちにしたいという想いを胸に、多くの方々がまちづくりに参加しています。各地区社協会長に「地区」の魅力をお尋ねしました。

※写真は地区社協役員の皆様です

祖師谷地区社会福祉協議会 会長 西崎 守

祖師谷地区は、狭い通りをはさんで商店が並び、夕刻には大勢の買物客と自転車が行き交います。

こうしたごちゃごちゃの風景はなにか下町の風情を思わせます。しかし、一步通りを入るとそこは別世界、閑静な住宅街となっています。商店街事務所には「お休み処」が設けられて、足腰の弱い方々にとっては、大変有難い休憩の場となっています。祖師谷地区社協でも、昨年より「お休み処」作りに取り組み、何軒かのお店がイス・ベンチの設置を引き受けてくださいました。当地区には、素晴らしいアイデアと実行力がある人、やさしい心遣いの人が多く、色々なサークル、地域全体の祭り、集まり等々に、それに適した人材が数多く参加しています。一つの物を最高の物に仕上げる、そんな人びとの集まる祖師谷が大好きです。



成城地区社会福祉協議会 会長 伊藤 美子

大正時代に計画的に造られたまちです。小田急線が通り、駅に学園の名前がつけられ…、成城学園と共に発展してきました。

東宝撮影所、スタジオがあり、文化人の集うまちでもあります。桜、銀杏並木、各家の生垣等、緑がとても多く、繁華な雑踏の中から帰るとホッと安らぎを与えてくれます。

夕暮れ時の赤く染まった富士山が大変素敵に見える場所もあるので、時々散歩がてらに足を運びます。そこでは同じように、富士山を見ている人たちが幾人もいて、「綺麗ね」の一言に、見知らぬ者同士でも頷き、微笑みあうことができます。そんなところも成城の魅力です。



船橋地区社会福祉協議会 会長 吉田 仁

船橋地区（千歳台、船橋）には地域の歴史を感じさせる祠やお社、お寺などがいたるところにあります。また、世田谷風景資産となっている船橋3丁目の小径をはじめ、希望丘公園や烏山川緑道、住宅の庭にいたるまで、身近なところに木陰や茂みがあり、とても緑豊かなまちです。社協や町会・自治会等地域の活動では小中学校・高校、施設等とも連携し、多彩な催しの開催、まちの美化、お年寄りや障害者の安心な生活を支え、次世代を育む地域ぐるみの活動に取り組んでいます。温かな人情で支えあう住みよいまち、船橋地区です。



喜多見地区社会福祉協議会 会長 荒川 和茂

橋から見る野川と広々とひろがる青い空、薄暮にながめる見え始めた星々や月、国分寺崖線の自然と湧水、野川に暮らすかわせみや小動物たち。次々と咲き競う次大夫堀公園の花々、砧小学校の崖の上のみはらしと富士山。そしてなによりも素敵なのは土曜日ごとの公園清掃ボランティアや喜多見地区区民まつり等でみせる結束、人情と助け合いなどつながりの強い新・旧住民の皆さん。立ち退きで空き地は増えたけどいつまでも暮らしたいまち「喜多見」。



きぬた地区社会福祉協議会 会長 加賀見 輝夫

昭和20年以前の砧は、畑、田、雑木林で農業が盛んな土地（米、麦、野菜）であったが、昭和39年東京オリンピックの開催以降、急激に都市化が進んだ。現在は田はなくなったが、畑は少々残っており、緑が他の町より多く残っていて住みよいまちと言われている。

特に国分寺崖線の上にある石井戸、大蔵、岡本は坂道が多く、又東側には（大蔵東部）、砧公園があり、春は桜がきれいに咲き、災害時は広域避難場所となっている。

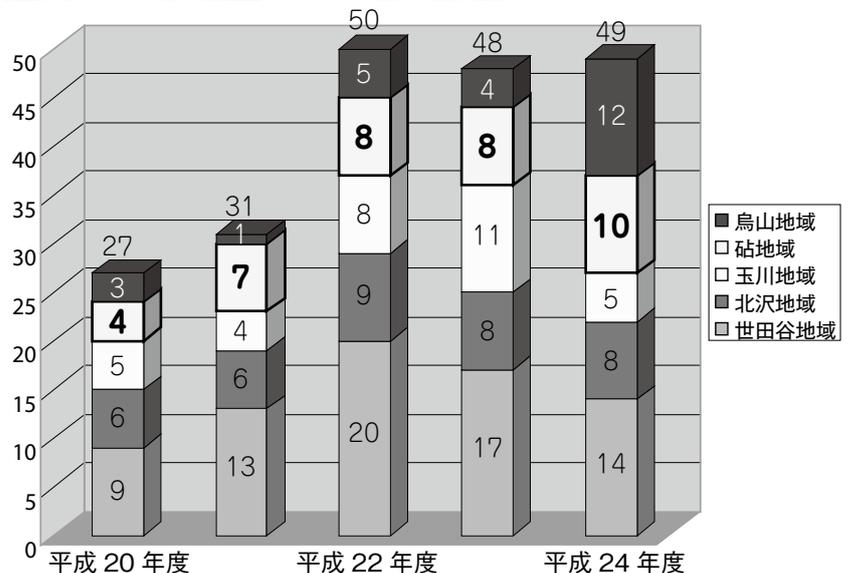
岡本2丁目にある静嘉堂は、岩崎小弥太さんが別荘として、大正13年に完成させ、現在に至っているが（静嘉堂文庫）、昔の雑木林がそのまま、世田谷の偉大な財産である。昔はタヌキやキツネ等、野生動物がたくさん生息していた。今でも、石井戸の愛宕山、岡本の根河原など、いろいろな場所に、昔の面影が残されている。



見守り活動推進中

世田谷区内の「孤立死」の実態

右図は平成20年度から平成24年度までの5年間に区内で孤立死された60歳以上の方の推移です。区内の65歳以上の高齢者数は19%を超え（7月現在）、今後ますます高齢者数は増えていきます。孤立を防ぎ、住み慣れた地域で安心して老後を過ごせるよう、様々な取り組みが始まっています。その一部をご紹介します



※「孤立死」とは、誰にも見取られずに自宅で死亡し、死後数日を経過し発見された高齢者、かつ、区及びあんしんすこやかセンターにて把握できた方の件数を計上しています。

「孤立死」を防ぐために、私たちができること

定期的な高齢者のお宅を訪問し、継続的な関わりを持ち続けるのは、とても有意義な見守り活動の一つです。今回は、社会福祉協議会で実施しているふれあいサービスとあんしんすこやかセンターで実施している見守りボランティアについてご紹介します。

**ふれあいサービス
(社会福祉協議会)**

「住民相互のたすけあい」のもとに行われる有償の在宅福祉サービスです

母が亡くなってから、父が一人で生活することになりました。父はまだ元気ですし、介護保険の対象にはなりません。でも80歳を超えた父の様子を時々誰かに見てもらいたくて、ふれあいサービスを利用しています。父も始めは必要ないと思っていたようですが、定期的にお掃除に来ていただき、顔なじみになった今は訪問を楽しみにしているようです。今後ともよろしく願いいたします。

砧地域在住 利用者家族

介護保険対象の有無に関わらずに利用できるこの制度は、今後ますます重要なものとなります。



協力会員さん募集中

協力会員さんの数が不足しています。地域の高齢者・障がい者のために、お時間をいただける方、随時募集中です。



見守りボランティア

区の研修を受けた区民の方が見守りを希望する方のお宅を訪問します



見守りボランティアを始めてから4ヶ月が経ちました。93歳の女性を週1回訪問しています。目的は安否確認ですが、親しくなるにつれ、それだけではなく色々なお話をするようになりました。天候が悪い日も、体調が悪い日もありますが、「あなたが来てくれて嬉しい」と喜んでもらえると、そんなことも吹き飛ばしてしまいます。「誰かのために」、というよりはむしろ「自分のために」という想いで活動を楽しんでいます。

見守りボランティア R.H さん

「人が好き」が原動力となって活動をしています。活動を始めて感じたことは、「見守り」に結びつくことの難しさです。必要性は感じていても、「訪問」を受けることのわずらわしさや「片付け」を気にする方もいらっしゃいます。勿論、ボランティア側も、緊張します。活動が始まり、慣れてくればお互いに気を使わずに、おしゃべりも楽しめるのですが、まだ、開始したばかりで、工夫を凝らしながらの活動だと感じています。

見守りボランティア M.T さん



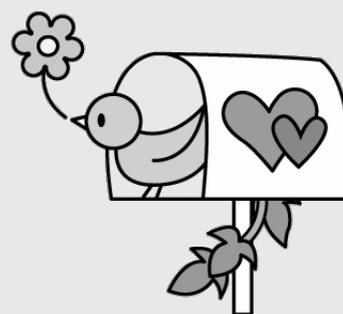
地区高齢者見守りネットワーク

今年度より社会福祉協議会も事務局として加わります

「地区高齢者見守りネットワーク」は、地区で活動している団体（町会・自治会、民生・児童委員協議会等、地区によって異なります）が連携してネットワークをつくり、高齢者が孤立せずに必要な支援を受けて生活できるように、情報共有、意見交換などを行いながら、住民による地域での見守り体制をつくっていくことを目的とした活動です。8月末現在では、祖師谷地区、船橋地区で始まっています。

ネットワーク事務局である「出張所・まちづくりセンター」、「あんしんすこやかセンター」、「社会福祉協議会」は、互いに連携・協力しあいながら、見守りネットワークの展開を促していくと共に、その活動を推進・支援します。

ご近所にちょっと気になる高齢者がいたら、まずはこの3機関にご相談下さい。



地域活動のご紹介 ～ マンション内の絆を深めるために ～

千歳台6丁目にある「東京テラス」は青山学院大学跡地に平成18年に建設された1,036世帯が住む世田谷区最大のマンションです。管理組合は「安全・安心・快適のコミュニティテラス」をスローガンに、居住者3,500名超の絆づくりに向けて大きく動き出しています。その第一歩として、理事会に東京テラスコミュニティクラブ（以下TCC）を設置し、理事会と共にコミュニティ形成活動をスタートしました。TCCを設立することになったきっかけなどについて、元管理組合副理事長の福留保男さんにお伺いしました。

きっかけは平成23年3月11日に発生した東日本大震災です。高齢者を含め住民の安否確認に2週間を要し、改めて「安全」について考えることになりました。管理規約に「安全」は謳われていますが、具体性がない。「安全・安心」を得るためには何が必要なのだろうかと理事会で話し合い、「絆」であろうと結論付けました。マンションの住民同士に「絆」があれば災害時は勿論、今問題になっている「孤立死」も防げます。そこで「絆」ができるよう、様々な交流の場を用意する、つまり、ソフト面を企画・運営するための「TCC」の立上げに向けて動き出すことにしました。

まず、震災の翌年に防災組織を再構築し、今年になってTCCを立ち上げました。TCCは理事会と協力して七夕祭りなどの季節行事や高齢者・子育て世代や障害者を対象としたセミナーの開催も始めました。現在は更なる絆づくりを試行錯誤しながら取り組んでいます。



TCC世話役会
今後の「絆づくり」活動計画について話し合います。



七夕まつり



エントランスホールには、立派な七夕飾り

子どもが多いマンションです。打ち水マンが中庭に登場！子どもたちは大喜び！



高齢者セミナー

一つ一つの事業が、「顔合わせ」「絆づくり」につながります。



「高齢者のための福祉サービスセミナー」「母さん助けて詐欺対策セミナー」等の講座を開催しました。皆さん真剣に耳を傾けていらっしゃいました。

社協会費募集強化月間 募集状況報告



昨年以上に猛暑の日々が続いた中、今年も社協会費募集にお力添えをくださいました皆様、本当にありがとうございました。

少子高齢化の進行、生活困窮者の増大、社会的孤立の深刻化等、様々な地域課題が見逃せない状況になっています。大勢の皆様にいただきました会費は、こうした課題の解決に向けて地域力を高め、地域福祉を推進させるための貴重な財源として活用させていただきます。

今後とも、ご理解・ご協力賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年度社協会費納入状況(中間報告)

平成25年9月30日現在

地域	地区名	平成25年度内訳						平成25年度実績	
		一般会費	人数	特別会費	人数	法人会費	人数	会費額	会員数
砧	祖師谷	657,200	1,673	415,000	26	15,000	3	1,087,200	1,702
	成城	975,200	2,841	115,000	18	110,000	22	1,200,200	2,881
	船橋	1,115,829	2,110	295,000	53	265,000	48	1,675,829	2,211
	喜多見	1,588,882	3,796	289,700	48	75,000	14	1,953,582	3,858
	きぬた	1,266,720	2,337	405,913	68	160,000	28	1,832,633	2,433
	小計	5,603,831	12,755	1,520,613	213	625,000	115	7,749,444	13,083
	事務局	4,900	9	5,000	1	0	0	9,900	10
	計	5,608,731	12,764	1,525,613	214	625,000	115	7,759,344	13,093

砧地域社協 地域福祉推進員研修

「元気のよいまちづくり(仮)」

日時：平成26年1月29日(水)

午前10時～12時

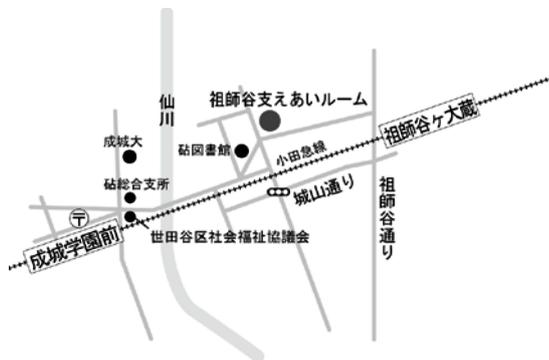
講師：田園調布学園大学

人間福祉学部

教授 村井祐一氏

会場：祖師谷支えあいルーム

参加費：無料



住所：祖師谷3-2-1-1

成城学園前または祖師谷大蔵駅徒歩8分

※駐輪場・駐車場のご用意はございませんので、自転車、車でのお越しはご遠慮ください。

善意のご寄付 ありがとうございました。

(平成25年4月1日～平成25年9月30日 24年度未掲載分)

月日	氏名	金額(円)
2月25日	きぬた地区社協 てまりの会	7,118
4月30日	公益社団法人 北沢法人会 千歳台・船橋支部	13,850
5月13日	田中 雪子	10,000
6月10日	東京土建砧分会及び女性の会	6,000
6月21日	東京土建喜多見分会センター	5,000
7月9日	東京土建千歳分会 塚本武夫	3,000
8月28日	成城地区社会福祉協議会	60,618
9月9日	公益社団法人 北沢法人会 千歳台・船橋支部	12,900

※ 敬称略

「砧地域社協だより第24号」寄付者一覧で「きぬた地区社協 てまりの会」のお名前を掲載しておりませんでした。お詫びと訂正をさせていただきます。





歳末たすけあい・地域支えあい募金に ご協力をお願いします！

「歳末たすけあい・地域支えあい募金」とは？

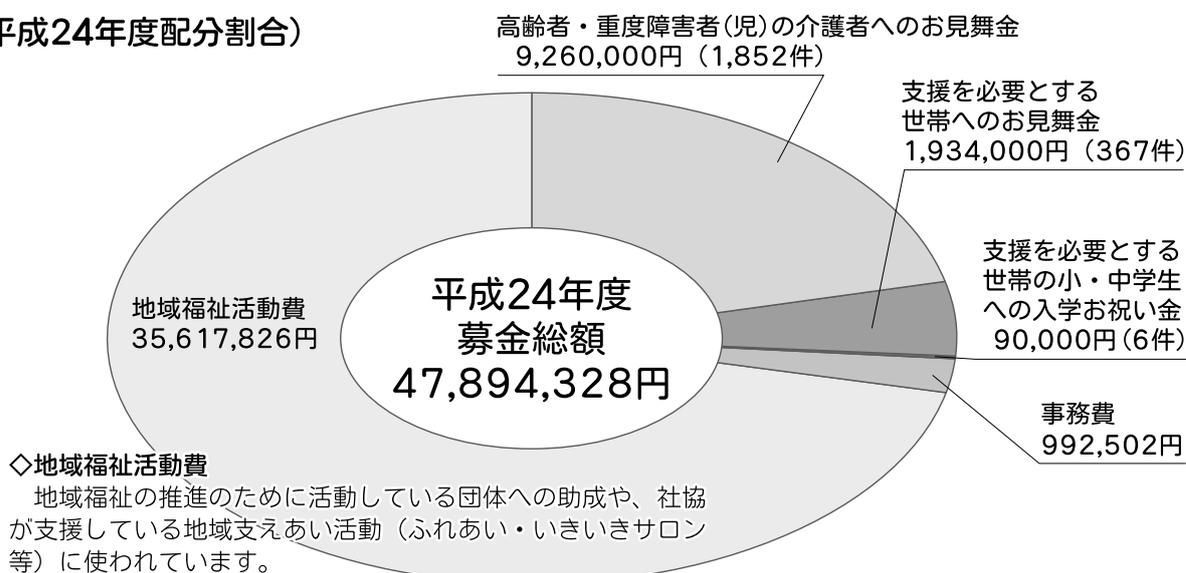
東京都共同募金会が主催し、世田谷区、世田谷区町会総連合会、世田谷区赤十字奉仕団、世田谷区民生委員児童委員協議会の協力により、世田谷区社会福祉協議会が実施しています。

皆様からいただいた募金の使いみち

募金はすべて世田谷区の福祉事業に活用します。

高齢者・重度障害者(児)の介護者へのお見舞金、支援を必要とする世帯へのお見舞金、支援を必要とする世帯の小・中学生への入学お祝い金、地域福祉推進のための支えあい活動、福祉団体への助成金など地域福祉活動費に使います(受領書の作成などの一部事務費もあります)。

(平成24年度配分割合)



「歳末たすけあい・地域支えあい募金」についてのお問い合わせ・ご連絡先

世田谷地域社会福祉協議会事務所

住所 太子堂4-3-1
電話 3419-2311 FAX 3419-2354

北沢地域社会福祉協議会事務所

住所 北沢2-8-18
電話 5465-7541 FAX 5465-7543

玉川地域社会福祉協議会事務所

住所 等々力3-4-1
電話 3702-7777 FAX 3702-7861

砧地域社会福祉協議会事務所

住所 成城6-2-1
電話 3482-6711 FAX 3482-6712

烏山地域社会福祉協議会事務所

住所 南烏山6-22-14
電話 5314-1891 FAX 5314-1893

地域福祉課 地域福祉推進係

住所 成城6-3-10
電話 5429-2206 FAX 5429-2204



中央共同募金会のホームページで、全国市区町村の詳しい募金の使いみちが検索できます。詳細は、右記のホームページをご覧ください。→ <http://www.akaihane.or.jp>